



第70回 全日本バレーボール 高等学校選手権大会

訂正版

北海道バレーボール協会
競技委員会・平成29年-8
平成29年9月21日刊行

主催 北海道バレーボール協会
北海道高等学校体育連盟
産経新聞 サンケイスポーツ
北海道文化放送

後援 北海道教育委員会
(公財)北海道体育協会
札幌市

(一財)札幌市体育協会
(一財)さっぽろ健康スポーツ財団

主管 札幌バレーボール協会

1 大会日程 平成29年11月15日(水)～18日(土)

- 1) 代表者会議 兼 開会式 11月15日(水) 9:00 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(サブアリーナ)
※開会式は代表者会議出席者のみで行います。
- 2) 競技開始 11月15日(水) 11:30 A～Cコートにて1回戦 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(女子)
12:00 D～Fコートにて1回戦 江別市民体育館(女子)・大麻体育館(男子)
11月16日(木) 9:30 A～Cコートにて2回戦 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(女子)
D～Fコートにて2回戦 江別市民体育館(男子)・大麻体育館(男子)
11月17日(金) 9:00 A・Bコートにて3回戦～準々決勝 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(女子)
D・Eコートにて3回戦～準々決勝 江別市民体育館(男子)
11月18日(土) 9:00 男女準決勝・決勝(特設コート) 北海道立野幌総合運動公園総合体育館
- 3) 閉会式 11月18日(土) 決勝戦終了後 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(メインアリーナ)

- 2 会場 北海道立野幌総合運動公園総合体育館 〒069-0832 江別市西野幌481番地 TEL 011-384-2166
江別市民体育館 〒069-0813 江別市野幌町9番地 TEL 011-384-5001
大麻体育館 〒069-0832 江別市大麻中町26-17 TEL 011-382-1439

- 3 参加資格
- 1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 - 2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加入している生徒で、当該競技要項により全道大会への参加資格を得た者に限る。
 - 3) 平成29年度公益財団法人 日本バレーボール協会登録規定により、8月31日(木)までに高等学校男子・女子として有効に登録され、所属協会から推薦されたチームであること。
 - 4) 年齢は平成10(1998)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - 5) チーム編成においては、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - 6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - 7) 転校後6ヵ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)
 - ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校体育連盟支部長の許可があればこの限りではない。
 - 8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属高等学校体育連盟支部長の承認を必要とする。
 - 9) 学校教育法第1条に規定する高等学校以外(専修学校・各種学校)・高等専門学校の参加については、北海道高等学校総合体育大会参加基準に準ずる。
 - 10) 北海道高等学校体育連盟が認める同一協会内の合同チームも認める。ただし全国大会への出場資格はない。
 - 11) 前年度優勝チーム
 - 12) 北海道協会推薦チーム(北海道高等学校総合体育大会の結果による)
 - 13) 開催地協会より男女各1チーム

- 4 参加制限 各協会代表チーム数は下表で、8月31日現在の登録数を基準とする。(高等専門学校も含む)
1～4=1, 5～12=2, 13～20=3, 21～28=4, 29～36=5, 37～44=6, 45～52=7, 53以上=8チーム。
下表の他に北海道協会推薦チームと前年度優勝チームが参加できる。

No.	地区	男	女	No.	地区	男	女	No.	地区	男	女	No.	地区	男	女
1	函館	2	4	6	日高	1	1	11	滝川	1	1	19	紋別	1	1
		12	21			3	4			2	3			3	3
2	後志	1	1	7	札幌	5	7	12	深川	1	1	20	北見	1	2
		3	4			32	49			1	2			4	8
3	小樽	1	2	8	江別	1	1	13	留萌	0	1	21	網走	1	1
		3	5			4	4			0	2			3	3
4	室蘭	2	2	9	千歳	2	2	14	富良野	1	1	22	帯広	2	2
		6	9			6	5			3	2			5	12
5	苫小牧	1	2	10	岩見沢	1	2	15	東空知	0	1	23	釧路	2	2
		4	7			3	8			0	1			5	10
								16	旭川	2	3	14	根室	1	2
										9	13			2	5
								17	名寄	0	2				
										0	5				
								18	稚内	1	2				
										3	6				
													合計	31	46
														116	191

出場チーム

	男子	女子
前年度優勝	1	1
開催地	1	1
推薦チーム	4	4
合計	36	51

◎北海道バレーボール協会推薦チーム

- 1、前年度優勝チーム
男子:北海道科学大学高等学校
女子:札幌大谷高等学校
- 2、北海道高等学校総合体育大会
男子: 東海大学付属札幌高等学校
北海道科学大学高等学校
札幌藻岩高等学校
とわの森三愛高等学校
女子: 札幌山の手高等学校
札幌大谷高等学校
江陵高等学校
北海道大谷室蘭高等学校

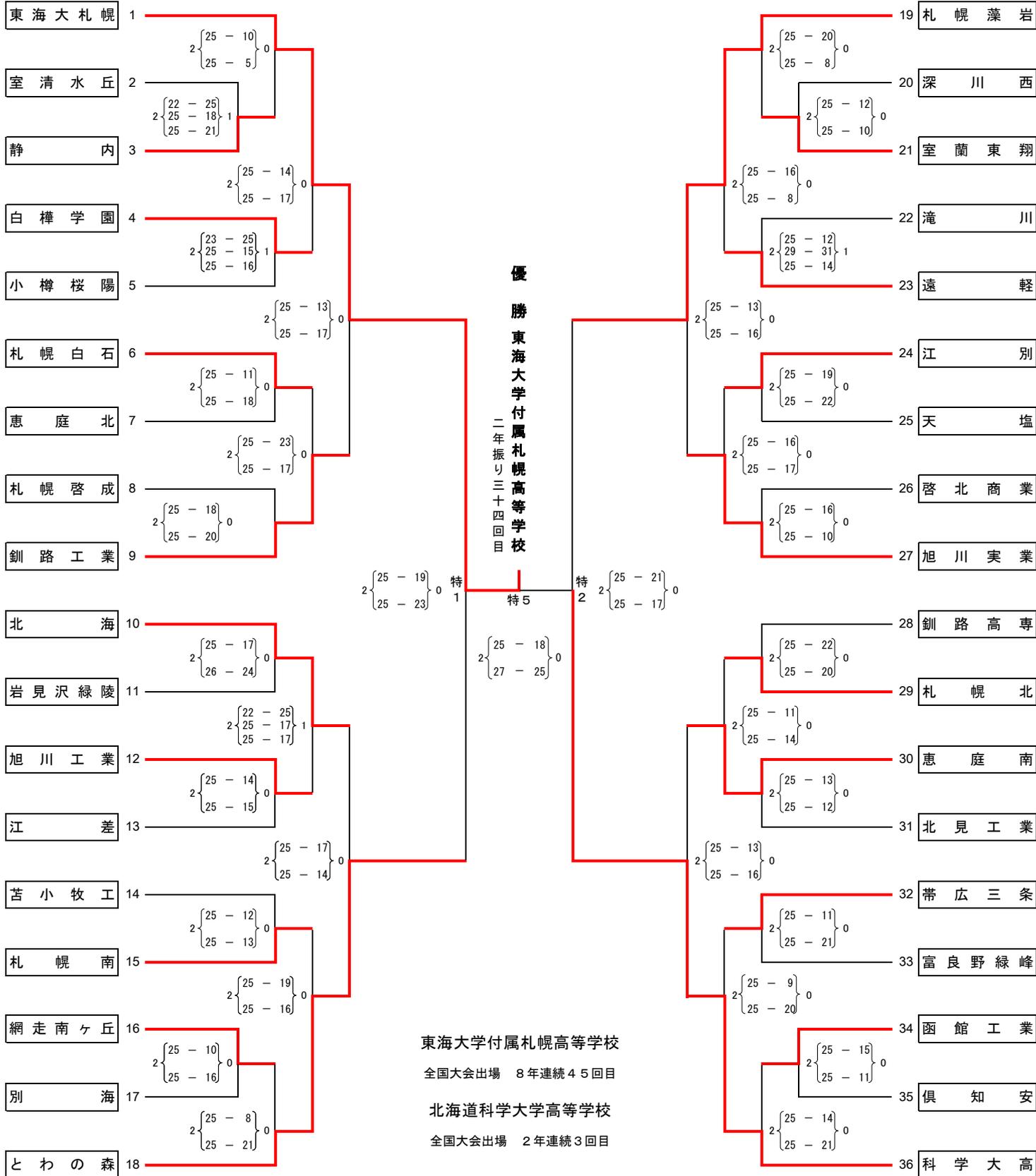
- 5 競技規則 平成29年度公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 6 競技方法 トーナメント形式3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。なお、全試合3セットマッチとする。
(ただし、統廃合の対象となる学校以外の合同チームが決勝へ進んだ場合は3位決定戦を行う)
- 7 大会使用球 大会使用球は、公益財団法人 日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
(男子：モルテンV5M5000、女子：ミカサMVA300)
- 8 チーム構成
- 1) チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手は18名まで申し込むことができる。
 - 2) 選手の変更は、競技者番号(1連の1~18番が望ましい)の訂正を含め一切認めないので、申込書記入の際十分注意すること。
 - 3) 各試合毎に最大14名を選抜し、構成メンバー表に記載し提出すること。14名の選手の内、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はその内の1名に限る。
 - 4) 構成メンバー表以外の大会参加エントリー選手は、公式練習ではボールキーパーとして、公式試合ではクイックモッパーとして参加することができる。ただしユニフォーム以外の統一された服装で参加すること。
 - 5) 監督・コーチは校長が認めた当該校の教職員又は外部指導者とし、外部指導者の場合は道高体連災害補償制度もしくは障害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とし、道高体連バレーボール専門部長に文書をもって9月末までに届け出ること。また、マネージャーは当該校の教職員または生徒であること。
 - 6) 引率責任者は、校長の認めた当該校の教員で選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
 - 7) 監督、コーチ、マネージャーのいずれかに当該校の教員が含まれない場合は、引率責任者をおこななければならない。
 - 8) 監督・コーチ・マネージャーの内1名以上は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく有資格者でなければならない。(北海道協会公認コーチ以上の有資格者)
 - 9) 競技選手の服装は、競技規則どおりとしソックスまで統一されなければならない。なおソックスは、くるぶしが完全に隠れるものを着用すること。
 - 10) ベンチスタッフの服装は、ネクタイ及びジャケットを着用するか、上下統一されたウェアを着用すること。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。
※服装について、詳しくは『競技者・ベンチスタッフの服装について』を参照して下さい。
- 9 出場手続
- 1) 北海道バレーボール協会 TEL 011-820-1750 FAX 011-820-1751
〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1 北海道立総合体育センター内 北海道バレーボール協会 宛
 - ① 大会申込書及びメンバー表1部(含地区協会長の推薦書)
 - ② 参加料15,000円
 - ③ 不参加の協会は道協会所定の不参加届を提出のこと。
※『委任状』については、HVAホームページよりダウンロードして、申し込み期限までに北海道協会へ電子送信(メールの添付ファイルとして)、または郵送すること。
 - 2) 札幌バレーボール協会 TEL 090-3395-6158 Fax 011-741-1809
〒065-0022 札幌市東区北22条東4丁目2番8号 石井 吉重 気付
 - ① 大会申込書及びメンバー表1部(含地区協会長の推薦書)
 - ② MRSから出力した『チーム加入選手一覧』1部(各地区協会長印 不要)
 - ③ 不参加の協会は、道協会所定の不参加届を提出のこと。
※ プログラム掲載用『写真』・『選手名簿』については、HVAホームページよりダウンロードして、
(株)正文舎へ電子送信(メールの添付ファイルとして)すること。
- 10 申込期限 平成29年10月25日(水)速達書留便にて、必着のこと。
- 11 抽選会 平成29年10月29日(日)14:30より行う。
出席できない場合は、申込の際「委任状」を提出すること。その場合チームに代わり北海道協会と札幌協会が抽選を行う。抽選結果は競技・審判上の確認とともに札幌協会よりチームへ郵送する。
抽選会場：北海道立総合体育センター(当日の駐車場はありません。)
住所：〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 TEL011-820-1703
- 12 主要役員
- | | |
|-------|------|
| 大会長 | 生島典明 |
| 大会委員長 | 大江憲一 |
| 競技委員長 | 田中淳 |
| 審判委員長 | 鈴木和彦 |
| 総務委員長 | 石井吉重 |
- 13 全国大会
- | | | |
|-------|---------------------|-------------------------------------|
| 大会日程 | 平成30年1月4日(木)~8日(月) | 東京体育館 |
| 締切期日 | 平成29年12月1日(金)必着 | |
| 抽選会 | 平成29年12月3日(日) 13:30 | 全国高等学校体育連盟9ブロックのブロック長による責任抽選方式にて行う。 |
| 代表者会議 | 平成30年1月3日(水) 13:30 | 東京体育館 サブアリーナ |
- 全国大会北海道代表数：男女各2チーム
- 14 その他
- 1) 北海道協会推薦チームも所属地区協会を通して申し込むこと。
 - 2) 申込書は『速達書留』便にて、申込期限厳守で送付のこと。
 - 3) 2チーム以上出場の協会事務局は、参加チームの順位を申込期限までに北海道協会事務局に連絡すること。
 - 4) 代表者会議・開会式には必ず参加のこと。
 - 5) プログラム掲載用紙のチーム名は、各チームで4~6文字以内に省略して記入のこと。
 - 6) 主管協会の負担軽減を考慮し、参加チームに練審4名・点示2名・補助記録2名の計8名を依頼いたしますので、主旨ご理解の上ご協力願います。
 - 7) 大会申込書に記載された代表者の個人情報、大会関係資料送付の際に利用し、ベンチスタッフ及び各選手の氏名・競技者番号・学年・身長・出身校等を大会プログラムに掲載いたしますのでご了承ください。
 - 8) 大会参加者は事前に健康診断を受けること。選手健康管理についてはチーム及び個人の責任としてこれを受け止め十分に留意すること。尚、競技中の負傷については応急処置は行うが以後の責任は負わない。
 - 9) 前年度優勝チームはカップを持参のこと。
男子：北海道科学大学高等学校 女子：札幌大谷高等学校

大会名 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦

日時 平成29年11月15日(水)~18日(土)
会場 北海道立野幌総合運動公園総合体育館・江別市民体育館・大麻体育館

大会委員長 大田 鈴石
競技委員長 江中 木井
審判委員長 憲 和吉
総務委員長 一 淳彦

【男子】



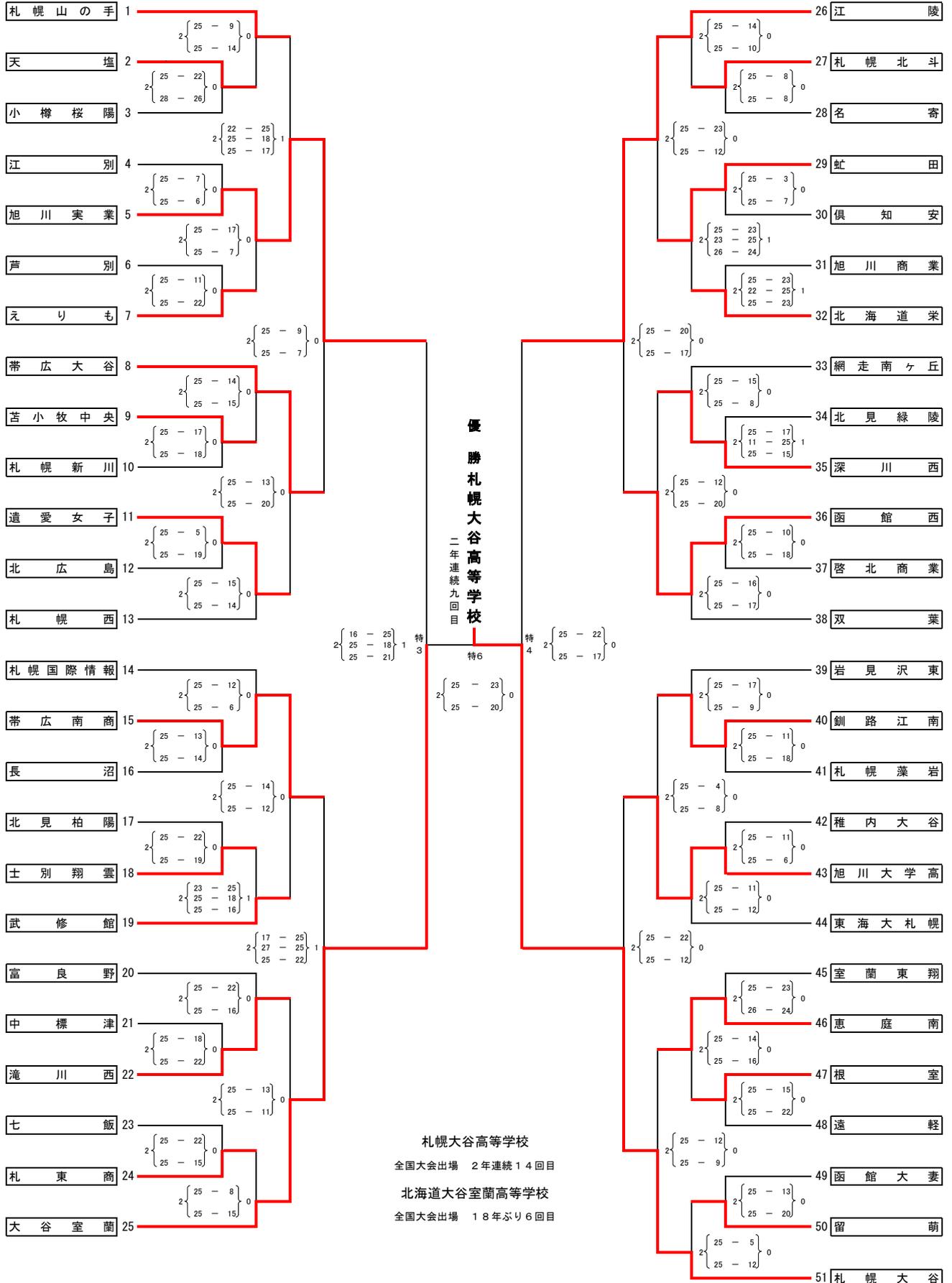
大会名 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦

大会委員長 大江 憲一
 競技委員長 田中 淳
 審判委員長 鈴木 和彦
 総務委員長 石井 吉重

日時 平成29年11月15日(水)~18日(土)

会場 北海道立野幌総合運動公園総合体育館・江別市民体育館・大麻体育館

【女子】



第70回 全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦

日 程：平成29年11月15日(水)～18日(土)

開催場所：野幌総合運動公園総合体育館・江別市民体育館・大麻体育館

代表者会議の様子



開会式の様子



試合の様子



第70回 全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦

大会2日目



大会3日目





第70回 全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦

平成29年11月18日(土)

野幌総合運動公園総合体育館

大会最終日

第1試合男子準決勝 東海大札幌 VS とわの森



第2試合男子準決勝 札幌藻岩 VS 科学大高



第3試合女子準決勝 旭川実業 VS 大谷室蘭



第4試合女子準決勝 江陵 VS 札幌大谷





第5試合男子決 勝 東海大札幌 VS 科学大高



第6試合女子決 勝 大谷室蘭 VS 札幌大谷



優勝 東海大札幌

優勝 札幌大谷



表彰と閉会式

男子 第3位 とわの森 札幌藻岩



女子 第3位 旭川実業 江陵



準優勝 大谷室蘭



優勝 札幌大谷



優勝 東海大札幌



準優勝 科学大高



7年(平成29年) 11月17日(金曜日) **スポーツニッポン** 11頁B(24)

椎間板ヘルニアで6月手術も強烈スパイク連発

奇跡の復活! 16強

松浦 白樺学園

「好成績のスケート、野球、バスケット部に負けない」

【札幌】北海道代表決定戦、男子バレーボール。白樺学園の松浦選手が、強烈なスパイクを連発し、チームを16強に導いた。松浦選手は、6月に椎間板ヘルニアで手術を受けたが、驚異的な回復力で、わずか2ヶ月で全回復を果たした。この大会では、松浦選手は、チームの主力として活躍し、チームを16強に導いた。松浦選手は、この大会を通じて、自分の力を証明し、チームの主力として活躍した。松浦選手は、この大会を通じて、自分の力を証明し、チームの主力として活躍した。

【札幌】北海道代表決定戦、男子バレーボール。白樺学園の松浦選手が、強烈なスパイクを連発し、チームを16強に導いた。松浦選手は、6月に椎間板ヘルニアで手術を受けたが、驚異的な回復力で、わずか2ヶ月で全回復を果たした。この大会では、松浦選手は、チームの主力として活躍し、チームを16強に導いた。松浦選手は、この大会を通じて、自分の力を証明し、チームの主力として活躍した。

第70回 全日本バレーボール 北海道代表決定戦

平成29年 11月15日(水) ~18日(土)

会場 北海道立野幌総合運動公園総合体育館・江別市民体育館・大麻体育館

主催 北海道バレーボール協会、北海道高等学校バレーボール協会、札幌市バレーボール協会、旭川市バレーボール協会、網走市バレーボール協会、稚内市バレーボール協会、紋別市バレーボール協会、室蘭市バレーボール協会、苫小牧市バレーボール協会、千歳市バレーボール協会、札幌市バレーボール協会、旭川市バレーボール協会、網走市バレーボール協会、稚内市バレーボール協会、紋別市バレーボール協会、室蘭市バレーボール協会、苫小牧市バレーボール協会、千歳市バレーボール協会



メンバー全員が高校から競技

男子バレーボール 26年ぶり勝利

道代表決定戦

【札幌】北海道代表決定戦、男子バレーボール。白樺学園の松浦選手が、強烈なスパイクを連発し、チームを16強に導いた。松浦選手は、6月に椎間板ヘルニアで手術を受けたが、驚異的な回復力で、わずか2ヶ月で全回復を果たした。この大会では、松浦選手は、チームの主力として活躍し、チームを16強に導いた。松浦選手は、この大会を通じて、自分の力を証明し、チームの主力として活躍した。

【札幌】北海道代表決定戦、男子バレーボール。白樺学園の松浦選手が、強烈なスパイクを連発し、チームを16強に導いた。松浦選手は、6月に椎間板ヘルニアで手術を受けたが、驚異的な回復力で、わずか2ヶ月で全回復を果たした。この大会では、松浦選手は、チームの主力として活躍し、チームを16強に導いた。松浦選手は、この大会を通じて、自分の力を証明し、チームの主力として活躍した。



道スポ情報BOX

◆ヤクルト野球教室 東京ヤクルトスワローズの現役選手による野球教室が11日に苫小牧・とましんスタジアムで、12日に札幌スタジアム室内練習場(札幌ヤクルト販売主催)でそれぞれ行われ、両日合わせて少年野球23チーム、253人が参加した。講師はベテラン高山和洋内野手(35)・写真左、松岡健一投手(35)、井野卓輔投手(33)が務めた。スワローズの野球帽子をかぶった子どもたちはキャッチボールの後、ポジション別に分かれた守備練習やトス打撃、投球練習で憧れのプロ野球選手から直接指導を受け感激の様子。野球教室終了後には記念撮影が行われ、抽選会サイン色紙、サインボールなどがプレゼントされた。